

いちのみやの芸術文化

■ 特集「資料館の歩みとこれから」

■ 「エッセイ」人体彫刻のゆくえ

デザイン・工芸・彫塑部門

一宮美術作家協会／デザイン・工芸部・彫塑部

川原 孝文

■ 役員紹介・加入団体一覧

■ これからの催し



旧林家住宅
（一宮市尾西歴史民俗資料館 別館）

2019.6

第49号

一宮市芸術文化協会

「一宮市」には、一宮市博物館・一宮市三岸節子記念美術館・一宮市尾西歴史民俗資料館など先人の残した文化を紹介する施設があります。私たちの「身近な文化」を学んでみませんか？

資料館の歩みとこれから

資料館の原点

一宮市尾西歴史民俗資料館は昭和六十一年（一九八六）に尾西市歴史民俗資料館として開館しました。昭和三十年代の高度成長期に伴い、全国で歴史資料や歴史的景観が失われていく状況をうけて、文化財保護の運動が本格的に開始されました。その風潮の中で市町村史の編さんや、昭和五十年代になると博物館や資料館が設置されました。尾西市でも文化財保護審議会の活動により、昭和四十九年（一九七四）に民俗資料室が開設されました。同時期に尾西市史編さんも始まり、資料館建設の機運が高まりました。昭和五十八年には尾西市が協本陣跡の旧林家住宅を活用し、起宿記念館として整備し、翌年には資料館の建設も始まりました。尾西歴史民俗資料館が開館した後は、旧林家住宅は別館となりました。当時、中山道の妻籠宿や奈良井宿、東海道関宿が伝統的建造物群に指定されたことに刺激され、起宿でも宿場の町並み保存を目指していたそうです。

起宿には本陣

加藤家、脇本陣・

船庄屋林家やそ

の他周辺の庄屋

層の資料が多く

残されています。

その数は一万点

を超えます。美

濃路には起宿を

含め七つの宿場

がありました。

まとまった資料が公共施設に保存されているのは

起宿のみです。江戸時代には苗字帯刀の特権を誇っ

ていた宿役人たちも明治維新以降に多くが没落し、

さらに、空襲や戦後の開発の中で多くの歴史資料

が散逸しました。そのため、これだけの資料が残

る宿場は全国でも少なく、誇るべきものです。こ

れらの資料を読み解くことで、起宿だけでなく、

他の宿場の様子や当時の交通の実態を知ることが



▲起宿記念館内(当時)



▲起宿の古文書(一宮市尾西歴史民俗資料館蔵)

できます。

この他にも、江戸時代後期の上祖父江の国学者小塚直持の蔵書「小塚文庫」には約千二百点もの古典籍が残っています。直持は元号「令和」の出版典ともなった『万葉集』を研究し、寺子屋の師匠として地域の子どものための教育にも熱心でした。これらの資料は何度が散逸の危険性がありました。が、当時の郷土史家や文化財保護審議会の活動により保存され、現在は資料館に保存されています。



▶万葉集(江戸時代後期 小塚文庫)
万葉集は奈良時代に成立した日本最古の歌集です。「令和」の出典は梅花三十二首の序文にある「初春令月、気淑風和」からです。

資料館の新しい展示

開館当時の常設展示は美濃路と木曽川が交わる起という立地を活かして、一階は美濃路起宿をテーマとしたものであり、二階は主に江戸時代から盛んだった繊維産業や地域に残る民俗資料を展示していました。全国の博物館施設で広く採用されている縄文時代から時代ごとに展示をする編年展示でなく、地域の特質を活かした展示方法でした。

平成三十年度旧林家住宅の耐震補強工事に併せて、本館一階の展示室も展示替えを行い、六月八

日に再オープンしました。展示替えには、元資料館職員で尾西市史の編さんや古文書整理に活躍された豊島比佐子氏の寄附金を活用しました。新しい展示では、美濃路や起の街の移り変わりをより詳しく展示しています。また、近年は大規模な災害が多く、災害への関心が高くなっています。そのため、市内に未曾有の被害をもたらした明治二十四年(一八九一)の濃尾地震や昭和三十四年(一九五九)の伊勢湾台風、昭和三十六年(一九六二)の三六豪雨をテーマとした展示も設けました。

二階は学びの場「美濃路往来塾」を設け、街道に関わる書籍を配架し、郷土の人物や学びに関わる展示を見ることが出来ます。また、子どもたちがプログラムBOXを使って自然や歴史を自由に



▲新しくなった常設展示



▲発見の森

学ぶことができる空間「発見の森」も新設しました。

これからの資料館は新しいテーマ「美濃路×木曽川」を掲げ、地域に残る資料を活かした活動を行い、発信していきたいと思えます。

(一宮市尾西歴史民俗資料館 学芸員 宮川充史)

一宮市尾西歴史民俗資料館

T4940006 愛知県一宮市起字下町211番地
TEL(0566)6219711 FAX(0566)6219545

■交通

JR東海道本線「尾張一宮」または名鉄名古屋本線「名鉄一宮」下車、一宮駅西口バスターミナル2番のりばから名鉄バス「起おこし」行きで約20分「起」下車徒歩5分

人体彫刻のゆくえ

デザイン・工芸・彫塑部門

一宮美術作家協会／デザイン・工芸部・彫塑部

川原 孝文

社会情勢が激動していく現代において、美術の世界も表現や価値観が多様化している。

特にテクノロジーの進歩によって膨大な演算処理が可能となったデジタルアートは、今まで経験した事がないような視覚・体感効果が生み出されて、普段美術に関心がない人々や社会をも巻き込み、時代を席巻している。

また、近年では過疎地や離島で

現代アートのイベントが盛んに開催されて、多くの人が不便を承知で足を運び、大きな経済効果をもたらしている例もある。自分もこのアートイベントを



越後妻有アートトリエンナーレにて

楽しみにしているひとりである。純粋に鑑賞者として面白く刺激的で、何が飛び出すのかわからないワクワク感があり、現地に行かないと体験できない感動がある。豊かな山村風景に点在する先鋭的な現代アート作品を探し出すという行為自体も、今までの美術館で作品を鑑賞するという既存の概念では得られなかった新しい感覚である。

さて、そこで作家としての自分はどうかだろうか？これこれ三十年ほど作風は変化しているが、人物をモチーフに具象彫刻を制作し続けている。なぜか？と言われても答えることができない。

ただひとつ明確に言えるのは、自分にとって人物を彫刻作品にするのはとても難しく奥深いということだ。なかなか思うような結果がでないことがほとんどで、「何か」が違つたとしても自問自答してしまう。その結果、製作前にイメージしたものや完成後ではまったく違つたものになってしまう事が多く、「見えない何か」を追いかけて悪戦苦闘の末、展覧会の出品期日が迫り、時間切れとなってしまう。こんな事を繰り返していたら、あつという間に三十年経ってしまったというのが実情である。

美術の表現が多様化していくなかで具象彫刻を制作している作家は減少傾向にあり、大学の彫刻学部の廃止

さて、そこで作家としての自分はどうかだろうか？これこれ三十年ほど作風は変化しているが、人物をモチーフに具象彫刻を制作し続けている。なぜか？と言われても答えることができない。



S氏の像

や縮小・入学生員割れ、公募団体も彫刻部門の出品数減少といった問題に悩んでいる。恐らくこれからは減少傾向は続いていき、増加することはないだろう。

自分もこのまま具象彫刻を続けていくのか？作風が変わってしまうのか？まったく分からない。ただ創作活動が自由にできる日本に生まれたことに感謝して、情報過多な現代に翻弄されながら、「見えない何か」を求めて創作活動は続けていきたい。



西の空から

令和元年度

一宮市芸術文化協会役員

※6～9ページに加入団体一覧表を記載します。

役職名	氏名	備考(部門/団体名)
名誉会長	中野正康	一宮市長
顧問	加藤昌義	茶道部門/同派会
会長	小島祥子	声楽・合唱部門/一宮音楽家協会
副会長	不破 皓	吹奏楽・管弦楽部門/尾西ウィンドオーケストラ
会計	不破 務	洋画部門/一宮美術作家協会/洋画部
監事	夫馬 勲	写真部門/一宮写真協会
	鵜飼輝子	吟剣詩舞部門/柳翠剣詩舞道会

※左表は各部門選出の理事一覧表です。

(敬称略)

文学部					部
短歌部門	俳句部門	川柳部門	狂俳部門	詩部門	部門
川合順夫	光崎賢治	川越洪太郎	山本範子	青木小代子	部長
真清短歌会	本町俳句会	一宮川柳社	一宮狂俳壇連盟	一宮現代詩協会	氏名
					団体名

文社 化 部会		芸 能 部		音 楽 部						美 術 部					部	
華 道 部 門	茶 道 部 門	芸 能 部 門	舞 踊 部 門	管 弦 楽 部 門	吹 奏 楽 部 門	器 楽 部 門	声 楽 ・ 合 唱 部 門	吟 剣 詩 舞 部 門	謡 曲 部 門	邦 楽 部 門	写 真 部 門	書 部 門	彫 塑 部 門	デザイン・工芸・ 洋画部門	日本画部門	部 門
	○	○					○							○		部長
脇 田 まつ子	木 野 文 工	木 全 修	花 柳 こま希久	浅 井 英 仁	不 破 清 子	久 野 以 早 夫	高 間 加 代 子	森 恒 夫	水 谷 富 士 雄	武 鹿 千 代	川 浦 碧 濤	鵜 飼 辰 郎	大 島 信 人	丹 羽 桃 慶		氏 名
一宮華道連盟	尾西表千家木野(文)会	一宮民俗芸能連盟	一宮舞踊協会	一宮市民吹奏楽団	琴伝流大正琴琴稀会	一宮音楽家協会	一宮吟剣詩舞協会	竹石会	一宮三曲協会	一宮写真協会	公益社団法人中部日本書道会 一宮支部	一宮美術作家協会 ／ デザイン・工芸部・彫塑部	一宮美術作家協会 ／ 洋画部	桃墨会		団 体 名

(敬称略)

加 入 団 体 一 覧

(令和元年5月現在)

部	部 門	団 体 名	主 な 活 動 日 時 ・ 場 所
			活 動 内 容
文 学 部	短 歌 部 門	真 清 短 歌 会	毎月第2日曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター 毎月の短歌教室と年3回の短歌大会、5月の吟行会で会員相互の親睦と生きがいを深めています。
	俳 句 部 門	一 宮 市 民 俳 句 教 室	毎月第4日曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター 初心者も交え俳句会を開き、年に一度秋の吟行会に参加しています。
		北 方 俳 句 会	毎月第1水曜日：午後1時～ 北方公民館 自然に親しみ、心豊かに生きている喜びを詠っています。
		本 町 俳 句 会	毎週金曜日：午後1時～ 大志公民館 四季の移ろいに自分の思いも入れ句に詠むことは心を豊かにします。
		き き よ う の 会	毎月第1・3水曜日：午後1時～ 大志公民館 四季の自然や生活の中で気付いた事を五七五にまとめて句会を致しております。お気軽にどうぞ。
		千 秋 俳 句 ク ラ ブ	毎月第1木曜日：午後1時～ 千秋公民館 当季雑詠6句を持ち寄り講師に指導いただき、11月には千秋文化展に出展し頑張っています。
		神 山 女 性 句 会	毎月第2土曜日：午後1時～ 神山公民館 神山句会では本年で20年の教室となりました。9月に新公民館に移ります。継続は力なりです。
		尾 西 牡 丹 句 会	毎月第3土曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター 毎月の句会では全員が披露し交流を深めています。毎年バスで吟行会と尾西俳句大会を実施しています。
		尾 西 み な み 俳 句 会	毎月第1金曜日：午後1時～ 尾西南部生涯学習センター 当日は俳句会をします。会の終わりに久保武氏の講評があり、折々の吟行会に参加します。
		仏 手 柑 俳 句 会	毎月第2日曜日：午後2時30分～ 応蓮寺 大徳公民館で活動を始めました。第4日曜日から午後2時から3時まで。ご参加お待ちしております。
		尾 西 新 樹 会	毎月第1月曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター 俳句を通じて人との触れ合いを大切にして作句し、吟行会や俳句大会へも積極的に参加しています。
	川 柳 部 門	一 宮 川 柳 社	毎月第4日曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター 句会と川柳教室ならびに柳誌の発行により、文芸としての川柳を楽しみ、普及をはかっています。
	狂 俳 部 門	一 宮 狂 俳 壇 連 盟	毎月第2土曜日：午後1時～ 葉栗公民館 一宮市に残る庶民文芸を伝承し、地域文化として普及するよう、言葉遊びを楽しんでいます。
	詩 部 門	一 宮 現 代 詩 協 会	事務局へお問合せください。 詩が好きな仲間が集まりました。詩心がある方はもちろん、始めてみたい方、どなたでも大歓迎です。
		一 宮 漢 詩 講 聲 會	毎月第1火曜日・第4土曜日：午前10時～ 中央図書館 自作の漢詩を各自持ち寄り、互いに読み合って、より良い作品へ仕上げる添削等を検討します。
美 術 部	日 本 画 部 門	一宮美術作家協会／日本画部	事務局へお問合せください。 市を代表する各部門の作家らの独創的な作品展を企画し、地域の芸術文化の発展に寄与していきます。
		桃 墨 会	毎月第1・3火曜日：午前10時30分～ 一宮スポーツ文化センター、第1・3水曜日：午後2時～ 尾西生涯学習センター 趣味とは云えども芸術としての水墨画を目ざし、年2回のスケッチ旅行と年1回の桃墨会展を開催しています。
		尾 西 作 家 協 会	事務局へお問合せください。 絵画や工芸作品の発表を通して美術文化の発展に協力します。チャリティー展も開催します。
	洋 画 部 門	一宮美術作家協会／洋画部	事務局へお問合せください。 市を代表する各部門の作家らの独創的な作品展を企画し、地域の芸術文化の発展に寄与していきます。
		尾 西 絵 画 ク ラ ブ	毎月第1・3土曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター 絵画をつづじて美術文化の発展と人との出会いを大切にし、中央の公募展をめざして精進します。
		水 絵 の 会	毎月第1・3金曜日：午前10時～ 尾西南部生涯学習センター 生涯学習として水彩画を学び、正確に描くことより気持ちを表現し、個性ある絵で感動を伝えたいです。
		グ ル ー プ 絵 ぐ こ ろ 三 美 会	毎月第1・2・3木曜日：午後1時～ 小信中島公民館 油絵を描くことで、美術に対する関心を深め、会員相互の親睦をはかります。
		楽 し く 描 こ う 会	毎月第2・4土曜日：午前9時30分～ 尾西生涯学習センター 本会も歩み始めて17年目。熱心な講師の指導、個性溢れる仲間の作品から刺激を受け合い前向きに頑張っています。
		尾 彩	毎月第2・4月曜日：午前9時30分～ 尾西生涯学習センター 水彩画に興味あるも始める機会のない方、ぜひ心躍る水彩画の世界に足を踏み入れてみて下さい。
		ポ ビ ー の 会	毎週水曜日：午前9時30分～ 午後1時30分～ 講師宅 絵を描く事が好きな人が集まり、個々でテーマを決め作品を作り公募展にも多数出品しています。

部	部 門	団 体 名	主 な 活 動 日 時 ・ 場 所
			活 動 内 容
美術部	洋 画 部 門	尾 西 ガ リ バ ン パ ン の 会	毎月第2・4金曜日：午前10時～ 尾西南部生涯学習センター 一枚の画用紙に何気ない風景を絵として表現できるよう学習しています。
		パ レ ッ ト 会	毎月第2・4木曜日：午前10時～ 尾西南部生涯学習センター 絵という共通の趣味を深め、互いの親睦を深め、年2回の展覧会を開き、地域と交流を深めます。
		木 曽 川 絵 画 同 好 会	毎月第2・4日曜日：午後2時～ 木曽川公民館 絵画一般を会員で楽しく描いています。
		ブ ル シ ャ ン ブ ル ー	毎月第1・3木曜日：午後1時～ 尾西南部生涯学習センター 絵画を楽しみ、人と人との交流を大切に、年間の成果を発表する作品展を目標に、活動しています。
		イ エ ロ ー オ ー カ ー	毎月第1・3土曜日：午前10時～ 尾西南部生涯学習センター 私達は絵画研習を目的に年2回のスケッチ旅行とグループ展を2回行っています。
		山 ぶ ど う の 会	毎月第2・4木曜日：午前9時30分～ 一宮スポーツ文化センター 趣味の一環で、水彩画・油絵など楽しく描き、年1回展覧会を開催しています。ご加入お待ちしております。
		土 筆 の 会	毎月第1・3火曜日：午前9時30分～ 一宮スポーツ文化センター 愛好者により、水彩画を学んで、地域の人との交流をして、成果を展示会にて発表します。
		あ ざ み の 会	毎月第1・3水曜日：午前9時～ 一宮スポーツ文化センター 仲間と共にワクワクする楽しい時を重ねて、絵筆を持ち脳トレに励み、笑顔あふれる日々を過ごします。
		花 畑	毎月第2水曜日：午前9時30分～ 北方公民館 クラブ員の親睦を深めながら、水彩画を学んでいます。作品展に出品する為に頑張っております。
		ゆ ず の 会	毎月第1・3金曜日：午前9時30分～ 一宮スポーツ文化センター 絵画をつうじて美術文化の発展と人との出会いを大切にし、作品展をめざして精進します。
		び く ー る ア ー ト サ ー ク ル	毎月第2・4金曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター 初心者からベテランの方まで、楽しく水彩画を学んでいます。スケッチ旅行にも皆で出かけます。
		グ ル ー プ 創	毎月第2・3・4火曜日：午後6時30分～ 一宮スポーツ文化センター 大島先生の指導のもと、各自自由課題で一宮市内外の展示会等に出展し油彩画を楽しんでいます。
		ア ク ア マ リ ン	毎月第1・3火曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター 水彩画を楽しく描き、一宮美術文化と人にふれあい生きがいのある活動をしします。
	デザイン・工芸 彫 塑 部 門	一宮美術作家協会/デザイン・工芸部・彫塑部	事務局へお問合せください。 市を代表する各部門の作家らの独創的な作品展を企画し、地域の芸術文化の発展に寄与していきます。
		陶 順 会	毎週火・土曜日：午前9時～ 朝日西つどいの里陶芸室棟 陶芸を通じて文化の振興に寄与し技術の向上に努めると共に、会員相互の親睦を図っています。
		尾 張 も め ん 伝 承 会	毎月第4日曜日：午後2時～ 尾張一宮駅前ビル（イービル） 尾州織物の原点となる綿から糸を紡ぎ染め織るという手仕事を伝承し、作品を作り発表しています。
		尾 西 面 打 会	毎月第1・3土曜日：午前8時30分～ 旧湊屋文右衛門邸 古面の能・狂言面等を手本に、角材から型紙を使い彫り、胡粉を塗り彩色し完成させています。
		一 面 会	毎月第2・4土曜日：午前9時～ アイブラザー宮 工芸「面打ち」教室に集う会員相互の親睦を深め、技術の向上を図ることを目的とします。
	書 部 門	公益社団法人中部日本書道会一宮支部	事務局へお問合せください。 『書』を通じて『地域文化の発展向上』と『心の豊かさ』をめざすと共に、青少年の育成にも尽力してまいります。
		麗 筆 会	事務局へお問合せください。 書を通して文化の発展向上、豊かな心と美意識を具備する青少年の育成をめざし研鑽しています。
	写 真 部 門	一 宮 写 真 協 会	事務局へお問合せください。 写真を通して会員相互の親睦を深め、写真技術の向上と豊かな人生の糧となるように努めています。
音楽部	邦 楽 部 門	一 宮 三 曲 協 会	事務局へお問合せください。 三曲協会は絃方10社中尺八6社中で構成され、合同で定期演奏会を毎年11月23日に開催しています。
		三 山 会	毎週土曜日：午後2時～ 講師宅 歴史ある伝統楽器である尺八を吹いて楽しんでいる仲間の会です。
		里 音 会	毎週土曜日：午後 講師宅 箏・三絃・十七絃を練習し、演奏会が近くなると尺八とも合奏しながら楽しく励んでいます。
		す み れ 箏 の 会	月4回 講師宅 箏のおけいこを通じて、音楽の知識を学び感性を養います。年に数回演奏会に出演。生徒募集中です。
		美 友 会	(随時) 講師宅 邦楽を愛する仲間で活動する会です。楽しく箏曲を演奏しております。
		藤 乃 会	(随時) 講師宅 古曲から新曲、あらゆるジャンルの曲を箏で合奏しています。新しい方との出会いをお待ちしています。

部	部 門	団 体 名	主 な 活 動 日 時 ・ 場 所
			活 動 内 容
音 楽 部	邦 楽 部 門	三 味 線 民 謡 熹 世 智 会	毎月第1・3木曜日：(民謡)、第2・4木曜日：(三味線) 小信中島公民館 民謡と三味線を楽しむ会です。秋の公民館の発表会に参加しています。
		津 軽 三 味 線 恋 糸	毎週土曜日：午前10時～ 講師宅 津軽三味線を通して、日本文化の普及と、生きがいを目的とし、練習に励んでいます。
		一 宮 三 味 線 川 崎 会	毎週金曜日 講師宅 民謡三味線を弾き、日本音楽文化を楽しもう。
	謡 曲 部 門	相 生 ・ 中 日 文 化 会	毎月第2・4木曜日：午後6時～ 名鉄百貨店一宮店 日本の伝統芸能の謡曲と言う共通の趣味を持つ団体で、年2回謡曲大会を開催し、親睦を深めています。
		竹 石 会	毎月第1・3金曜日：午後1時～ 真清田神社 日本の伝統芸能の謡曲と言う共通の趣味を持つ団体で、年2回謡曲大会を開催し、親睦を深めています。
		誠 諷 ・ 緑 風 会	毎月第4水曜日：午後1時30分～ 島村公民館、第1・3月曜日：午前9時30分～ 河端公民館、第2・4金曜日：午後1時～ ききょう会館 日本の伝統芸能の謡曲と言う共通の趣味を持つ団体で、年2回謡曲大会を開催し、親睦を深めています。
		清 宵 ・ 蘇 水 会	毎週月曜日：午後1時～ 宮西公民館 日本の伝統芸能の謡曲と言う共通の趣味を持つ団体で、年2回謡曲大会を開催し、親睦を深めています。
		丹 謡 ・ 萩 謡 会	毎週土曜日：午後6時30分～ 丹陽公民館 日本の伝統芸能の謡曲と言う共通の趣味を持つ団体で、年2回謡曲大会を開催し、親睦を深めています。
		紅 韻 会	毎週月・木・土曜日：午前10時～ 講師宅 日本の伝統芸能の謡曲と言う共通の趣味を持つ団体で、年2回謡曲大会を開催し、親睦を深めています。
	吟 剣 詩 舞 部 門	一 宮 吟 剣 詩 舞 協 会	事務局へお問合せください。 地域文化高揚の為、伝統芸能の詩吟、剣舞、詩舞等の普及と会員相互の親睦、出合いを深める会です。
		雅 芳 流 嶋 邦 吟 詠 会	毎週金曜日：午後7時～ 尾西生涯学習センター、土曜日：午前10時～ 尾西ふれあい広場 尾張地区や愛知県剣詩舞道コンクールへの出演に向け、日々練習を重ねています。
		神 道 一 刀 流 剣 詩 舞 会	毎月第1・3金曜日：午後1時～ 小信中島つといの里、第2・4金曜日：午後1時～ 小信中島公民館 勇壮な剣舞、艶やかな詩舞の伝統芸能により歴史を学び、舞台や慰問等を楽しんでいます。
		柳 翠 剣 詩 舞 道 会	毎月第1・3金曜日：午後1時～ 小信中島公民館、第2・4金曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター他 吟剣詩舞道は日本古来の伝統芸能です。「礼と節」をその心とし舞う事に喜びを感じ精進しています。
		山 瑩 会	毎週月・水・金曜日 山瑩会教室、尾西生涯学習センター 他 吟詠を通じ、優れた詩人の心情・思想にふれ共感し仲間との絆を深めています。又発声により健康の保持に努めています。
	声 楽 ・ 合 唱 部 門	一 宮 音 楽 家 協 会	事務局へお問合せください。 クラシック音楽の演奏。会員は日頃は個々に自己研鑽に努め、その成果を一般に公演しています。
		一 宮 合 唱 協 会	事務局へお問合せください。 コーラスを通じ歌いたい心のうたを皆様にお届けできたらと取り組んで練習を重ねています。
		一 宮 第 九 を う た う 会	毎週火曜日：午後6時45分～ カトリック一宮教会 「第九」をはじめ各種の演奏会と練習を通じて地域文化の向上に貢献することを目的に音楽活動中です。
		佳 富 士 会	毎月第2・4土曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター 民謡は「心の故郷」といわれます。さあ民謡の旅にご一緒しましょう。さあ出発しますよー。
	器 楽 部 門	琴 伝 流 大 正 琴 琴 稀 会	月4回 金曜日：午後1時～、土曜日：午後1時～ 尾西ふれあい広場 懐かしい童謡や流行歌など大正琴の音色を楽しみながら、芸能祭出演に向けて練習に励んでいます。
		安 美 & コ ン プ リ オ	事務局へお問合せください。 12月にはクリスマスコンサートでいろいろなジャンルの曲をいろいろな楽器で演奏します。
		特定非営利活動法人旭雅楽会	毎月1・15・28日：午後6時～、第2・4日曜日：午後6時～ 尾張猿田彦神社 一宮市をはじめ、東海三県で世界最古の音楽「雅楽」の演奏活動をしております。
	吹 奏 楽 ・ 管 弦 楽 部	一 宮 市 民 吹 奏 楽 団	毎週土曜日：午後5時～ 一宮スポーツ文化センター 定例練習を重ね、自主演奏会を開催し、市民文化発展に貢献できるよう、活動しています。
		尾西ウィンドオーケストラ	毎週日曜日：午後5時～ 尾西生涯学習センター 音楽を楽しみ、人との繋がりを深め、希望と夢のあふれるまちづくりに貢献し、人生に潤いを！
		一 宮 シ テ ィ 合 奏 団	毎月第2土曜日：午後6時～ 第4日曜日：午後1時30分～ 木曽川文化会館(変更の場合あり) リハーサルにより合奏能力を高め、年1回10月に一宮市尾西市民会館にて定期演奏会を行っています。
		きそがわポップスバンド	毎月第1土曜日、第2～5日曜日：午後5時30分～ 木曽川公民館または木曽川体育館 吹奏楽を通じて地域文化の発展や人との出合いを大切に、イベントや演奏会に参加しています。
		濃 尾 プ ラ ス ソ サ エ テ ィ	月3回 日曜日：午後1時～ 木曽川公民館 通常練習と年4回程の演奏会を通じて市民文化の発展に貢献できるよう活動しています。

部	部 門	団 体 名	主 な 活 動 日 時 ・ 場 所
			活 動 内 容
芸 能 部	舞 踊 部 門	一 宮 舞 踊 協 会	越智バレエ団 秋田産業ビル（木曜日） 佐々バレエ団 一宮中日文化センター（木曜日） 糸尾バレエ団 下沼町（日～土曜日） 日舞喜美会 北園通（水、木、金、土、日曜日） 日舞吉利枝会 スポーツ文化センター（金曜日） 日舞こま希久会 中町（日、月、木、金曜日） 現在 6 団体、日舞とバレエ協会結成67年目で、各会それぞれに楽しく稽古に励んでいます。
			毎週水曜日：午後 6 時～ 起つどの里 歌謡曲や古典舞踊、民謡の曲にあわせ日々稽古に励み、秋の尾西芸能祭に向けて頑張っています。
		坂 東 流 百 喜 久 会	毎月第 1・2 木曜日：午前 9 時～ 尾西文化広場、毎月火曜日：午後 1 時～ 講師宅又は尾西生涯学習センター 令和 3 年に 70 周年を迎えます。日舞の歴史等も学びつつ、演目の理解度も高め、芸能祭を目標に！
		坂 東 流 百 の 会	毎月第 1・2（又は 3）木曜日：午前 9 時～ 尾西文化広場または講師宅 H27 年に 10 周年記念発表会。自分の踊りを仕上げる喜び、苦しみ仲間と共に。芸能祭を目指します。
		芳 美 会	毎週月曜日：午前 9 時 30 分～ 午後 5 時 30 分～ 向山公民館 会員皆で仲良く楽しく、日本舞踊に親しんでいます。
		芸 能 部 門	一 宮 民 俗 芸 能 連 盟
	社 会 文 化 部	茶 道 部 門	事務局へお問合せください。 現在 10 団体加入しており、長い歴史に培われた郷土の民俗芸能を保護するため奮闘しています。
			同 派 会
			事務局へお問合せください。 7 月に納涼茶会、10 月に市民茶会、11 月に妙興寺で茶会を行う等、各先生方と共に茶会の席を設けております。
			弥 生 会
			事務局へお問合せください。 7 月に納涼茶会、10 月に市民茶会、11 月に妙興寺で茶会を行う等、各先生方と共に茶会の席を設けております。
			茶 道 表 千 家
			事務局へお問合せください。 7 月に納涼茶会、10 月に市民茶会、11 月に妙興寺で茶会を行う等、各先生方と共に茶会の席を設けております。
			茶 道 裏 千 家
			事務局へお問合せください。 7 月に納涼茶会、10 月に市民茶会、11 月に妙興寺で茶会を行う等、各先生方と共に茶会の席を設けております。
			表 千 家 尾 西 玉 香 会
			火曜日：午後 2 時～ 講師宅、金曜日：午後 1 時 30 分～ 尾西生涯学習センター 池坊尾西玉香会と一緒に花茶とお茶を楽しんでいます。
			尾 西 表 千 家 ・ 木 野 (文) 会
			月 3 回 土曜日：午後 2 時～（随時） 講師宅 おいしい花茶を優雅な所作で、おもてなし出来る事を目指し、御稽古を楽しんでいます。
			尾 西 緑 寿 会
			月 3 回 金曜日：午後 4 時～、土曜日：午後 1 時 30 分～ 講師宅 尾西小原流寛社中と一緒に花茶とお茶を楽しんでいます。
			尾 西 清 真 会
			毎週火曜日 講師宅 日々、一碗の茶によって同座する皆さんとともに、おもてなしの心を楽しんで学んでいます。
			裏 千 家 尾 西 杉 本 社 中
			月 3 回 月・水・土曜日：午前 9 時～ 講師宅 伝統文化の茶道を通じ、心の持ち方、立居振舞いを勉強しつつ、日常生活に生かしましょう。
			松 風 会
			事務局へお問合せください。 忙しい日々中で、お菓子を頂きお茶を頂き、一時心を開放する事を、姿勢を正し、楽しんでいます。
			裏 千 家 白 河 社 中
			（随時） 講師宅 茶道を基礎から上級までお稽古します。英語での茶道レッスンも行います。
			裏 千 家 住 田 社 中
			（随時） 講師宅 茶道は総合芸術で、日常生活の基本であり、豊かな心で人々と交わり、明るく暮らせる世に精進します。
	華 道 部 門	一 宮 華 道 連 盟	事務局へお問合せください。 華道展を開催する事によって、文化の発展の向上をより多くの方々に伝えて携わっていただきたいです。
			月 3 回 火曜日：午後 講師宅 表千家尾西玉香会と一緒に花茶とお茶を楽しんでいます。
		池 坊 尾 西 玉 香 会	月 3 回 金曜日：午後 4 時～、土曜日：午後 1 時 30 分～ 講師宅 尾西緑寿会と一緒に花茶とお茶を楽しんでいます。
		尾 西 小 原 流 寛 社 中	月 3 回 土曜日：午後 2 時～（随時） 講師宅 池坊の生け花を、自分自身が楽しみ、家族や世間様にも喜んで頂ける作品を目指し稽古しています。
		尾 西 池 坊 木 野 (文) 会	毎月第 2・4 土曜日：午後 2 時～ 講師宅 花を愛でる老若男女集いお口と手を動かして楽しいひとときをすごします。一度皆様も覗いてみてください。
		小 原 流 紫 苑 会	毎月第 4 月曜日：午前 10 時～ 尾西生涯学習センター 華道を通じて人との出会いを大切に精進しています。尾西華道展に参加しています。
		尾 西 花 紘 会	



「平 穩」

則武 穹

『市民川柳教室』

【問合せ先 一宮川柳社】

☎(44)7598

日時▼6月23日(日)・7月28日(日)

8月25日(日)・9月22日(日)

10月27日(日)・11月24日(日)

12月22日(日) 午後1時～

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼自由吟および課題吟を一宮川柳社委員が指導します。

(初心者歓迎)

参加料▼無料 申込み▼当日直接会場

『市民俳句教室』

【問合せ先 一宮市民俳句教室】

☎(73)5504

日時▼6月23日(日)・7月28日(日)

8月25日(日)・9月22日(日)

10月27日(日)・11月24日(日)

12月22日(日) 午後1時～

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼当季雑詠3句を一宮市民俳句教室委員が指導します。

(初心者歓迎)

参加料▼無料 申込み▼当日直接会場

『一宮市民吹奏楽団 レインボーコンサート2019』

【問合せ先 一宮市民吹奏楽団】

☎080(5102)8611

日時▼6月23日(日) 午後1時30分～

3時30分(開場は30分前)

会場▼一宮市民会館

内容▼第1部では「新・祝典行進曲」や「ゲールフォース」、第2部では「ドラゴンクエスト」

より序曲や「ウィーアー!」などを演奏します。

入場料▼500円 前売400円

『漢詩創作教室』

【問合せ先 一宮漢詩瀟聲會】

☎(78)7953

日時▼7月2日(火)・9月3日(火)

10月1日(火)・11月12日(火)

12月3日(火) 午前10時～

会場▼中央図書館

内容▼漢詩文の作り方の指導をはじめ、持ち寄った創作詩の添削の検討を会員間で行います。

(初心者歓迎)

参加料▼年3,000円

申込み▼当日直接会場

『市民短歌教室』

【問合せ先 真清短歌会】

☎(51)3570

日時▼7月14日(日)・8月25日(日)

9月8日(日)・10月13日(日)

12月8日(日) 午後1時～

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼真清短歌会委員により実作指導します。(初心者歓迎)

参加料▼無料 申込み▼当日直接会場

加入団体の 催し

『一宮市尾西俳句教室』

【問合せ先 尾西俳句会】

☎(68)2397

日時▼7月20日(土)・8月17日(土)

9月21日(土)・11月16日(土)

12月21日(土)

午後1時30分～

会場▼尾西生涯学習センター

内容▼当季雑詠4句課題1句を尾西俳句教室委員が指導します。

参加料▼無料 申込み▼当日直接会場

『漢詩講読会』

【問合せ先 一宮漢詩瀟聲會】

☎(78)7953

日時▼6月22日(土)・7月27日(土)

9月28日(土)・10月26日(土)

11月23日(土)・12月28日(土)

午前10時～

会場▼中央図書館

内容▼漢詩文の基本的な読み方をはじめ、作者の時代背景にも触れながら初めての方にも分かりやすく「唐詩三百首」を解説します。(初心者歓迎)

講師▼三島徹氏(東洋文化振興会会長)

参加料▼月2,000円

申込み▼当日直接会場

『第37回ゆかた会』

花柳流こま希久会

【問合せ先 一宮舞踊協会こま希久会】

☎(45)5498

日時▼7月14日(日)

午後0時30分～3時30分

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼日舞発表会

入場料▼無料

『100人展』

【問合せ先 一宮写真協会】

☎(76)3523

日時▼7月19日(金)～21日(日)

午前10時～午後5時(21日は午後3時50分まで)

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼100人の会員の作品を展示します。

入場料▼無料

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】

☎(85)7075

日時▼8月3日(土) 午後7時～

会場▼石刀神社(浅井町黒石)

内容▼山車に550個の提灯を飾りつけ、お囃子とともに練り歩きます。

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】

☎(85)7075

日時▼8月3日(土) 午後7時～

会場▼石刀神社(浅井町黒石)

内容▼山車に550個の提灯を飾りつけ、お囃子とともに練り歩きます。

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】

☎(85)7075

日時▼8月4日(日) 午前10時～

会場▼島村公民館(島村字岩畑)

内容▼市の有形民俗文化財である島村地区の文楽人形の虫干しをします。

『狂俳月例会』

【問合せ先 一宮狂俳壇連盟】

☎(78)5002

日時▼8月10日(土)・9月14日(土)

10月12日(土)・11月9日(土)

12月14日(土) 午後1時～4時

会場▼葉栗公民館

内容▼各自10句持参、互選により優秀作を記録に残します。

(初心者歓迎)

参加料▼無料

『花柳流喜美会 研修発表会』

【問合せ先 一宮舞踊協会喜美会】

☎(72)5660

日時▼8月11日(日)

午前11時～(開場は30分前)

会場▼木曾川文化会館

内容▼日舞発表会

入場料▼無料

『瀬部山車・臼台祭保存会臼台祭』

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】

☎(85)7075

日時▼8月17日(土) 午後6時～

会場▼八剣社(瀬部字大門)

内容▼山車の上に提灯をかがけ、笛

や太鼓のお囃子に合わせて境内を練り歩きます。

★『一宮七夕まつり協賛事業』

7月25日(木)～28日(日)

『狂俳大会』

【問合せ先 一宮狂俳壇連盟】

☎(78)5002

日時▼7月13日(土) 午後1時～5時

会場▼葉栗公民館

対象▼どなたでも

参加料▼500円

『第47回学生書道展・第26回道連盟選抜作品展』

【問合せ先 一宮書道連盟】

☎090(5617)4190

日時▼7月13日(土) 午後1時～4時

14日(日) 午前10時～午後4時

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼上位入賞作品、役員と指導者作品を展示します。

入場料▼無料

『津軽三味線演奏』

【問合せ先 津軽三味線 恋糸】

☎(45)0726

日時▼7月27日(土)

午後6時～6時30分

会場▼iービル3階

観覧料▼無料

『舞楽奉納』

【問合せ先 真清伶人会】

☎(73)8970

日時▼7月27日(土) 午後7時～8時

会場▼服織神社(真清田神社境内)

観覧料▼無料

『写真コンテスト』

【問合せ先 一宮写真協会】

☎(76)3523

日時▼7月27日(土)・28日(日)

午前10時30分～午後2時

会場▼尾張一宮駅・名鉄一宮駅周辺

～真清田神社迄の商店街

対象▼どなたでも 参加料▼無料

『納涼茶会』

【問合せ先 一宮茶道連盟】

☎(45)4887

日時▼7月27日(土)・28日(日)

午前10時～午後3時

会場▼一宮スポーツ文化センター

呈茶券▼650円

前売券 600円

『短歌大会』

【問合せ先 真清短歌会】

☎(51)3570

日時▼7月28日(日)

午後1時～4時30分

会場▼一宮スポーツ文化センター

対象▼どなたでも

参加料 ▼ 500 円

『七夕まつりコンサート』

【問合せ先 一宮市民吹奏楽団】

☎ 080(5102)8611

日時 ▼ 7月28日(日)

午後4時30分～5時30分

会場 ▼ 真清田神社特設舞台

観覧料 ▼ 無料

『手踊り』

【問合せ先 宮後住吉踊保存会】

☎ (45)7300

日時 ▼ 7月28日(日)

午後6時30分～7時

会場 ▼ 真清田神社特設舞台

観覧料 ▼ 無料

お知らせ

今年度より加入団体の活動内容の欄を増やしました。発行は年3回(6・12・3月)とし、号外として8月に一宮市芸術祭の特集号を発行します。

この「いちのみやの芸術文化」は、今年度の編集委員七名により、編集されています。

【編集委員】※順不同・敬称略

・浅井 英仁・木全 修
・小島 祥子・後藤 蘇月
・原 美津子・増田 和臣
・安江 たつよ

いちのみや文芸

2019

作品募集

1、募集種目

① 随想・随筆 一人1編

(本文は、4000字詰
原稿用紙3枚以内)

② 現代詩 一人1編

(本文は、4000字詰
原稿用紙3枚以内)

③ 漢詩 絶句、一人2首以内

④ 短歌 一人8首以内

⑤ 俳句 一人10句以内

(題を付けること)
(新かな、旧かな使い
を明記のこと)

⑥ 川柳 一人10句以内

⑦ 狂俳 一人10句以内

(俳号を付けること)

2、応募上の注意

① 応募は、一人3種目以内とします。

② 用紙は、A4判の4000字詰原稿用紙とし、種目ごとに別紙を用いてください。

③ パソコンなどを使用する場合、A4判白無地の用紙を横長に用い、20字×20行で印字してください。

④ 原稿は縦書きとし、文字は

正確に読みやすく書いてください。

④ 原稿には、欄外に種目を記入してください。その他に氏名、号(必要に応じて)、年齢、住所(番地まで正確に)、郵便番号、電話番号を記入してください。なお、氏名および号には振り仮名をつけてください。

⑤ 原稿は文字のみとし、挿絵や写真等は掲載しません。

⑥ 応募原稿は返却しません。

3、応募資格

市内在住・在勤または一宮市芸術文化協会加入団体に所属している人

4、作品の採否

応募作品の採否については、編集委員が選者となり、編集委員会で決定します。

5、応募方法

〒491-8501(住所不要)

一宮市芸術文化協会事務局

『いちのみや文芸』係(市教育委員会生涯学習課内)までお送りください。

令和元年7月1日(月)必着

6、発刊予定

令和元年10月19日(土)

1冊800円(予定)



一宮民俗芸能連盟の加盟団体が市内各地に伝わる民俗芸能を上演します。

いちのみや 民俗芸能のつどい

入場無料

8/18(日) 正午～ 一宮市民会館

【出演予定団体】

石刀祭山車保存会、ばしょう踊保存会、真清伶人会、
宮後住吉踊保存会、島文楽保存会、機織唄保存会、
馬場獅子屋形打囃子保存会、瀬部山車・臼台祭保存会

【題 字】武 山 翠 屋
【編集・発行】一宮市芸術文化協会

【連絡先】一宮市芸術文化協会事務局(市教育委員会生涯学習課内)
〒491-8501 愛知県一宮市本町2丁目5番6号
TEL 0586-85-7075 / FAX 0586-73-9213